

民間簿記學

森下岩楠
森島脩太郎 著

上

163

乙
678

334

館藏書會育法日大			
一	一	三	六
二	五	三	六
册	號	架	函

110.63
14

B 21

26 15



森下岩楠
森島脩太郎 著

民間簿記學

二冊

東京

中近堂藏版

民間簿記學自序



曩日余輩三菱商業學校ノ初等ノ生徒ヲ啓

發大 爲メ復式ノ簿記學ヲ簡單平易ニ

說明 之ヲ旨ト爲シ簿記學階梯ヲ著セリ

固ヨリ初 學ノ爲メニスル者ナレハ恰モ中

學ノ教課書ニ適シ小學ノ生徒ニ授ルハ

過高ノ嘆ヲ免レサルモノアリ是ヲ以テ更

ニ小學ノ教課書ニ適應スルノ一書ヲ著シ

以テ兒童ノ簿記學ノ門ニ入ルヲ便ナラシ

民間簿記學

自序

中近堂藏

№6052

メント企圖スルヲ茲ニ久シ頃日開ヲ得テ
 稿ヲ起シ之ヲ名ケテ民間簿記學ト云フ蓋
 シ初學途ニ就クノ坦路ヲ敷クノ意ナレハ
 簡單平易ハ著者ノ用意ノ存スル所ナリ

明治十七年四月

著者誌

民間簿記學目次

卷之上

- 第壹章 單式簿記法
- 第貳章 借貸仕譯之規則
- 第三章 帳簿ノ謄記ニ就キ注意スヘキ要件
- 第四章 日記帳
- 第五章 金銀出入帳
- 第六章 元帳
- 第七章 損益表
- 第八章 改良單記元帳及有物負債平均表

卷之下

第九章 單式簿記法例題

第十章 復式簿記學

第十一章 本主帳

第十二章 借貸仕譯ノ規則

第十三章 日記帳

第十四章 仕譯帳

第十五章 元帳

第十六章 試算表、損益表、及有物負債平均表

目次終

民間簿記學卷之上

森下岩楠 合著
森島脩太郎

○第壹章 單式簿記法

簿記學トハ總テ賣買取引ノ勘定ヲ帳簿ニ記載シテ損益ノ多少及ヒ身代ノ盛衰ヲ一目下ニ明瞭ナラシムルノ學問ナリ

簿記學ハ獨リ商業ノミニ要用ナルモノニ非ス大ハ政府ノ會計ヨリ小ハ工業、農業其他一家ノ會計ニ至ルマテ皆之ヲ欠ク可ラス且之ヲ學フ

ハ會計ノ主任者ノミニ限ル可ラス何人ニテモ算筆ト均シク之ヲ學ハサル可ラス

簿記學ニ單記復記ノ二式アリ余輩カ此上卷ニ於テ説明セント欲スル所ノモノハ單式簿記法

ニシテ工業者、農家、小賈其他賣買取引ノ區域狹隘ニシテ其金額ノ寡少ナル營業ニ專ラ適切ス

可キモノナリ
單記ニ於テ用フル所ノ帳簿ハ營業ノ大小及ヒ種類ニ由リ其數ヲ異ニスルモノニシテ金銀出

入帳、日記帳、元帳、仕入帳、賣上帳、手形帳等其種類

甚ク多シト雖トモ通常先ツ金銀出入帳、日記帳、元帳ノ三帳簿ヲ以テ其主要ノモノトナセリ故

ニ此三帳簿ニ記入スルノ式法ヲ能ク會得スルニ於テハ單式簿記法ノ道理ヲ一ト通り學ヒ得

タルモノトス
此書ハ元來初學者ヲシテ簿記學ノ道理ヲ一ト

通り了解セシメンカ爲メニ著シタルモノニシテ錯雜ヲ避ケテ簡單ヲ取ルヲ以テ本旨トスレ

ハ爰ニハ此三帳簿ノミヲ説明セントス自他ノ帳簿ノ如キハ學者宜シク簿記學ノ道理ヲ一ト

通り了解シタル後自己ノ工夫又ハ他書ヲ參觀シテ之ヲ造ル可シ

金銀出入帳ハ總テ金銀ノ受拂ヲ記入スルモノニシテ日記帳ハ總テ掛ニテ爲シタル賣買取引ヲ其順次ニ從ヒ借貸ノ區別ヲナシテ登錄スルモノナリ又元帳ハ日記帳ニ登錄セル賣買取引ヲ謄寫スルモノナリ元帳ニ於テハ掛ニテ品物ヲ賣込ミタル人ハ名前及ヒ掛ニテ品物ヲ買取リタル人ノ名前ヲ以テ口取りヲナシ日記帳ニ登錄セル借貸ノ區別

ニ從テ其賣買取引ヲ記載ス且各賣買取引ハ如何程久シキ時日ヲ經ルモ又日記帳ニ於テ數多ノ紙葉ニ散記シアルモ元帳ニテハ其賣買取引ヲ爲シタル人名或ハ會社ノ名前ヲ記シテ口取りシタル寡少ノ紙葉中ニ集録シ得ルナリ故ニ吾人ハ元帳ニテハ日記帳ノ如ク數多ノ紙葉ヲ繰ルノ勞ヲ費スヲナクシテ容易ニ各人或ハ各會社ト吾人トノ取引勘定ヲ視ルヲ得可シ

○第貳章 借貸仕譯ノ規則

各賣買取引ニ就キ其借貸ノ仕譯ヲ爲スニハ左

ノ六問答ヲ記臆セサル可ラス

(第壹問)商賣ヲ開始セントシテ資本主ヨリ商賣方へ元入シタル金額ヲ始メテ帳簿ニ記入スルノ規則ハ如何

(答)資本主ヨリ元入シタル金額ハ總テ貸トナス可シ

但シ二人以上ノ資本主組合ニテ銘々ニ資本金ヲ出シタル時ハ其銘々ノ口座ヲ別々ニ開キ各口座ノ貸方へ銘々ニ元入シタル金額ヲ記入ス可シ

例之ハ東京屋ハ金五千圓ヲ以テ商賣ヲ始メタル時ハ左ノ如ク日記帳ニ記入ス可シ

年月日	元帳 丁数	東京屋ハ貸シ	本日商賣方へ資 本金ヲ拂込ム	五、〇〇〇
-----	----------	--------	-------------------	-------

(第貳問)資本主ノ商賣方へ元入レシタル金額又ハ其内金若干ヲ引出シタル時之ヲ帳簿ニ記入スルハ如何

(答)元入ノ全金額又ハ其内金若干ヲ引出シタル勘定ハ總テ借トナス可シ

但シ二人以上ノ資本主組合ニテ銘々ニ資本金ヲ出シタル場合ニ在テハ金圓ヲ

引出シタル資本主ノ口座ノ借方へ其引出シタル金圓ヲ記入ス可シ
 例之ハ東京屋ハ豫テ元入レシタル金額ヨリ都合ニ由リ金壹千圓ヲ引出シタル時ハ左ノ如ク日記帳ニ記入ス可シ

東京屋ハ借リ	資本金ノ内ヨリ都合ニヨリ引出ス	一、〇〇〇
--------	-----------------	-------

第三問 買主ノ勘定ヲ借ト爲スノ規則ハ如何
 答 本店(帳簿主)ヨリ他人へ掛ニテ商品ヲ賣渡シタル時ハ本店ノ貸ニシテ買主ノ借ナルヲ明ナリ然ルニ之ヲ本店ノ貸トナサス

シテ買主ノ借トナスヲ法トス
 例之ハ長崎屋へ本店ヨリ茶、胡椒、白米ノ三商品ヲ賣渡シタル時ハ左ノ如ク日記帳ニ記入ス可シ

長崎屋ハ借リ	同人へ掛ニテ賣渡ス		
茶 貳斤	代金壹圓五拾錢		
胡椒 壹斤	同 五拾錢		
白米 壹石	同 八圓		
	合計金拾圓	一、〇〇〇	

第四問 買主ノ勘定ヲ貸トナスハ如何
 答 第三ノ規則ニ反對シテ本店ノ賣掛代金ヲ他人(買主)ヨリ受取リタル時ハ其他人ノ

貸トナス可シ

例之ハ長崎屋ハ正金ニテ賣掛代金ヲ本店ニ拂入レタル時ハ左ノ如ク日記帳ニ記入ス可シ

長崎屋ハ貸シ

同人ヨリ正金ニテ掛代金受取ル

一、

(第五問) 賣主ノ勘定ヲ貸ト爲スノ規則ハ如何
(答) 本店ノ他人ヨリ掛ニテ商品ヲ買入レタル時ハ本店ノ借ニシテ賣主ノ貸ナルヲ明ナリ然ルニ之ヲ本店ノ借トナサスシテ賣主ノ貸トナスヲ法トス

例之ハ西京屋ヨリ掛ニテ商品ヲ買入レタル時ハ左ノ如ク日記帳ニ記入ス可シ

西京屋ハ貸シ同人ヨリ掛テ商賣ヲ買入ル

五、

(第六問) 賣主ノ勘定ヲ借トナスハ如何

(答) 第五ノ規則ニ反對シテ本店ヨリ他人(賣主)へ買入品ノ代金ヲ仕拂タル時ハ其他人ノ借トナス可シ

例之ハ本店ヨリ西京屋へ正金ニテ商品ノ掛代金ヲ仕拂フタル時ハ左ノ如ク日記帳ニ記入ス可シ

西京屋ハ借リ 同人へ正金ニテ掛代金ヲ仕拂フ 五、

他店ノ本店ニ對シ又ハ本店ノ他店ニ對シ物品代價ノ割引ヲ爲シタル時ハ其割引ノ金高ハ正金受拂ノ如ク本店ノ帳簿ノ借方又ハ貸方ニ之ヲ記入ス可シ譬へハ若シ本店ノ他店ニ對シ割引ヲ爲シタル時ハ其割引ノ金高ト他店ヨリ拂込ミタル代金トヲ他店ノ貸トナス可シ又若シ他店ノ本店ニ對シ割引ヲ爲シタル時ハ其割引ノ金高ト本店ヨリ拂込ミタル代金トヲ他店ノ借ト爲ス可シ乃チ後章ニ記載スル日記帳ノ十

二月一日常陸屋ノ勘定ヲ觀ヨコ、ニテハ常陸屋ハ本店ニ對シ割引ヲ爲シタルモノニシテ實際代金ハ唯貳百九拾四圓ノミヲ拂込ミタルナレ氏之ニ割引ノ金高六圓ヲ加へ合計三百圓ヲ以テ常陸屋ノ借トナスナリ

○第三章 帳簿ノ騰記ニ就キ注意ス可キ要件

日記帳ノ記入ト元帳ノ騰寫ニ就キ左ノ件々ニ注意ス可シ

(第一要件)前章借貸仕譯ノ規則ヲ記臆シ了リタ

ル後ハ後章ニ記載スル日記帳ノ十月分ノ勘定ヨリ記入ヲ始ム可シ日記帳ニ元帳ノ丁數ヲ書スルヲハ日記帳ノ記入ト同時ニ為ス可ラス必ス日記帳ノ勘定ヲ元帳ニ謄寫シタル後ニ之ヲ為ス可シ

(第二要件)日記帳ヨリ元帳ニ謄寫スルニハ第一ニ金高第二ニ日附第三ニ事由第四ニ日記帳ノ丁數ヲ元帳ニ書シ然ル後ニ元帳ノ丁數ヲ日記帳ニ記ス可シ

(第三要件)十月分ノ勘定ヲ日記帳ニ記入シ又之

ヲ元帳ニ謄寫シタル後其謄記ニ於テ過誤ノナキヲ証明シ得ルトキハ日記帳ノ日附ノ上ニレ印ヲ記シ元帳ノ金高ノ上ニ・印ヲ書ス可シ
(第四要件)十月分ノ勘定ヲ謄記シタル後ハ其謄記ノ法ニ隨ヒ漸次ニ十一月分及ヒ十二月分ノ勘定ニ進ム可シ

○第四章 日記帳

民権教育論 卷之四 口述筆記

(一)		明治十七年	元帳	枚數
同	十月一日	一元	東京屋(資本主)ハ貸シ	本日商賣方へ正金ニテ資本ヲ拂込ム
同		二元	西京屋ハ貸シ	同人ヨリ掛ニテ商品ヲ買入ル
同		三元	大阪屋ハ貸シ	同人ヨリ掛ニテ商品ヲ買入ル
同		四元	新瀉屋ハ貸シ	同人ヨリ掛ニテ商品ヲ買入ル
同	十月五日	五元	長崎屋ハ借リ	同人ハ掛ニテ賣渡ス
			茶 貳斤	代金壹圓五拾錢
			胡椒 壹斤	同 五拾錢
			白米 壹石	同 八圓
			合計	拾圓
同		六元	横濱屋ハ借リ	同人ハ掛ニテ賣渡ス
			砂糖 拾斤	代金壹圓
			干魚 拾尾	同 貳圓五拾錢
			合計	四拾錢
			合計	三圓九拾錢
			蠟燭 貳斤	同 四拾錢
			平面秤 壹箇	代金七拾五圓
			双手秤 壹箇	同 貳拾五圓
			合計	百圓
			函館屋ハ借リ	同人ノ注文ニ由リ各種ノ食料ヲ和歌山屋ニ送ル
	十月十日	七元	神戸屋ハ借リ	本店ヨリ馬關屋ニ為シタル注文狀ニ對シ
	十月十五日	七元	馬關屋ハ貸シ	本店ヨリ同人ニ為シタル注文狀ニテ
	十月廿五日	九元	西京屋ハ借リ	同人ハ掛代金ヲ仕拂フ
	十月廿五日	二元	大阪屋ハ借リ	同人ハ掛代金ヲ仕拂フ
	十月廿五日	三元	新瀉屋ハ借リ	同人ハ掛代金ヲ仕拂フ
	十月廿五日	四元	合計	八七五
			合計	三九〇

(二)		明治十七年	元帳	枚數
同	十月十日	七元	神戸屋ハ借リ	同人ヨリ掛ニテ買入ル
			平面秤 壹箇	代金七拾五圓
			双手秤 壹箇	同 貳拾五圓
			合計	百圓
	十月十五日	八元	函館屋ハ借リ	同人ノ注文ニ由リ各種ノ食料ヲ和歌山屋ニ送ル
	十月廿五日	七元	神戸屋ハ借リ	本店ヨリ馬關屋ニ為シタル注文狀ニ對シ
	十月廿五日	九元	馬關屋ハ貸シ	本店ヨリ同人ニ為シタル注文狀ニテ
	十月廿五日	二元	西京屋ハ借リ	同人ハ掛代金ヲ仕拂フ
	十月廿五日	三元	大阪屋ハ借リ	同人ハ掛代金ヲ仕拂フ
	十月廿五日	四元	新瀉屋ハ借リ	同人ハ掛代金ヲ仕拂フ
			合計	八七五
			合計	三九〇

九月廿五日 九月廿五日 九月廿五日

(三)	十二月廿日	十元	尾張屋ハ貸シ	同人ヨリ掛ニテ白米百石買入ル	六七五	
	同	十元	常陸屋ハ貸シ	同人ヨリ掛ニテ飲料拾樽買入ル	三、	
	同		薩摩屋ハ貸シ	同人ヨリ掛ニテ砂糖蜜拾五樽買入ル	四五、	
	同		薩摩屋ハ借リ	同人仕出ノ手形ノ金圓ヲ仕拂フ	四五、	
	十二月廿日	五元	長崎屋ハ借リ	同人ハ掛ニテ賣渡ス		
			干葡萄 壹箱	代金 三圓		
			刷毛 貳箇	同 壹圓五拾戈		
			小麥粉 貳拾袋	同 壹圓八拾戈		
			茶 貳斤	同 壹圓貳拾戈		
			合計	七圓五拾戈	七五、	
	同	十三元	長門屋ハ借リ	同人四拾五斤入砂糖蜜壹樽ヲ 介九拾戈ニテ掛ニテ賣渡ス	四、五、	
	十二月廿日	十三元	備前屋ハ借リ	同人四拾五斤入砂糖蜜五樽ヲ 介九拾戈ニテ掛ニテ賣渡ス	二、二五、	

(四)	十二月廿日	十元	尾張屋ハ借リ	本店仕出シ三十日限仕拂ノ 手形ニテ商品ノ代金ヲ拂フ	六七五	
	十二月廿日	十元	常陸屋ハ借リ	同人ハ掛代金ヲ仕拂フ		
			飲料代金ノ割引	金 六圓	三、	
			飲料代金仕拂高	同貳百九拾四圓		
	同	五元	長崎屋ハ貸シ	同人ヨリ正金ヲ掛代金請取ル	一、	
	同	六元	橫濱屋ハ貸シ	同人ヨリ正金ニテ掛代金請取ル	三九、	
	十二月廿日	十四元	肥後屋ハ借リ	同人ハ白米貳拾五石ヲ石七圓 五拾戈ニテ掛ニテ賣渡ス	一八七五、	
	同	十五元	加賀屋ハ借リ	同人ハ白米五拾石ヲ石七圓五拾 戈ニテ掛ニテ賣渡ス	三七五	
	十二月廿日	十四元	肥後屋ハ貸シ	同人仕出シ三十日限仕拂ノ 手形ニテ商品代金ヲ請取ル	一八七五、	
	十二月廿日	十六元	土佐屋ハ借リ	同人ハ掛ニテ賣渡ス		
			白米貳拾石 石七圓五拾戈	此代金百五拾圓		

(土)同	十六元	土佐屋ハ貸シ	正金ヲ受取ル 金五拾圓	
同		差引金百圓		一、
同	十七元	筑前屋ハ借り	番頭給料トシテ同人ハ拂フ	一、
レ青番	八元	函館屋ハ貸シ	倉庫修繕料ノ仕拂未済	四一
同	十七元	筑前屋ハ貸シ	一ヶ月分給料ノ仕拂未済	五、

○第五章 金銀出入帳

金銀出入帳ニ於テハ都テ受取リタル金員ヲ借方ニ仕拂フタル金員ヲ貸方ニ記入ス可シ
左ノ雛形ニテハ唯一回ノ差引勘定ヲ示スト雖

モ商業ノ種類ニ由リ毎日或ハ毎週ニ一回宛ノ差引勘定ヲ爲サル可ラス
借方ニ記入シタル金高ト貸方ニ記入シタル金高トノ差引残高ハ則チ手許有金ナレハ差引勘定ノ上手許有金ト差引残高トノ突合セヲナシ然ル後雛形ノ如ク朱ニテメ切ノ記入ヲナス可シ而シテ此突合ニ於テ双方ノ金高ニ差異ナキ時ハ則チ勘定ニ過誤ナキノ証據ナリ若シ其金高ニ差異アル時ハ必ス手許有金ノ調査又ハ金銀出入帳ノ記入ニ於テ過誤アル可ケレハ更ニ復

タ之ヲ取調へサル可ラス

朱ニテ差引残高ヲ貸方ニ記入シタル後ハ又朱

ニテ差引勘定結了ノ線ヲ引ク可シ然ル後ハ墨

ニテ差引残高ヲ借方ニ記入シテ繰越ヲナシ以

テ次回ノ帳合ヲ始ム可シ(書中朱記不可キモノ

ヲ學者宜シク之ヲ推知スベシ)

借方(受取)

貸方(仕拂)

明治十七年	十月一日	資本主ニ 請取ル	五、三、	明治十七年	十一月一日	西京屋ニテ 掛代金ヲ 仕拂フ	五、
	十一月一日	長崎屋ニ 掛代金ノ 内受取ル	一、		同	大阪屋ニテ 掛代金ヲ 仕拂フ	一五、

同	十一月廿日	横濱屋ニ 掛代金 受取ル	三九、	同	十一月五日	新瀉屋ニテ 掛代金ヲ 仕拂フ	八五
		商品ニ 上佐屋ヨリ 代金受取ル	五、		十一月一日	常陸屋ニテ 掛代金ヲ 仕拂フ	二九
					十一月廿日	筑前屋ニテ 掛代金ノ 内仕拂フ	一、
						差引残高	二七四九、
							五、三、九、
明治十八年	十一月一日	手許有金	二七四九、				

第六章 元帳

(一)

借方

資本主

貸方

明治十七年十月卅一日	差引残高ニ		
		五四五	
明治十七年十月卅一日	正金ニテ		
明治十七年十月卅一日	利益ニテ		
明治十七年十月卅一日	差引残高ニテ		
		五四五	五四五
		四五	

(二)

借方

西京屋

貸方

明治十七年十月卅一日	正金ニ	二日	五、
明治十七年十月卅一日	商品ニテ	一日	五、

(三)

借方

大阪屋

貸方

明治十七年十月卅一日	正金ニ	二日	一五、
明治十七年十月卅一日	商品ニテ	一日	一五、

(四)

借方

新瀉屋

貸方

明治十七年十月卅一日	正金ニ	二日	八五
明治十七年十月卅一日	商品ニテ	一日	八五

(五)

借方

長崎屋

貸方

明治十七年十月五日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日
商品ニ	商品ニ	商品ニ	商品ニ
一日	三日	三日	三日
一	一	一	一
七五、	七五、	七五、	七五、
明治十七年十一月一日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日
正金ニテ	差引残高ニテ	差引残高ニテ	差引残高ニテ
四日			
一	一	一	一
七五、	七五、	七五、	七五、

(六)

明治十七年十月五日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日
借方	借方	借方	借方
商品ニ	商品ニ	商品ニ	商品ニ
一日	一日	一日	一日
三九、	三九、	三九、	三九、
明治十七年十一月一日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日
貸方	貸方	貸方	貸方
正金ニテ	正金ニテ	正金ニテ	正金ニテ
四日	四日	四日	四日
三九、	三九、	三九、	三九、

(七)

明治十七年十月廿五日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日
借方	借方	借方	借方
神戸屋	神戸屋	神戸屋	神戸屋
本日	本日	本日	本日
一	一	一	一
明治十七年十一月十日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日
貸方	貸方	貸方	貸方
貳箇ノ秤ニテ	貳箇ノ秤ニテ	貳箇ノ秤ニテ	貳箇ノ秤ニテ
二日	二日	二日	二日
一	一	一	一

(八)

明治十七年十月十五日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日
借方	借方	借方	借方
函館屋	函館屋	函館屋	函館屋
同日	同日	同日	同日
二	二	二	二
明治十七年十一月十日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日
貸方	貸方	貸方	貸方
倉庫修繕料ニテ	倉庫修繕料ニテ	倉庫修繕料ニテ	倉庫修繕料ニテ
五日	五日	五日	五日
四	四	四	四
明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日	明治十七年十一月十五日
借方	借方	借方	借方
差引残高ニ	差引残高ニ	差引残高ニ	差引残高ニ
同日	同日	同日	同日
一六	一六	一六	一六

(九)

	明治十七年十月卅一日	借方 馬關屋
	三	差引残高ニ
	二	
	明治十七年十月卅一日	貸方 馬關屋
	三	本店ノ注文テ
	二	差引残高テ
	三	
	三	

(十)

	明治十七年十月廿五日	借方 尾張屋
	四	本店借手形ニ
	四	空
	明治十七年十月五日	貸方 尾張屋
	三	商品ニテ
	三	空

(十一)

	明治十七年十一月一日	借方 常陸屋
	四	割引ニ
	四	正金ニ
	同	
	六	
	五	
	明治十七年十月五日	貸方 常陸屋
	三	商品ニテ
	三	
	三	

(十二)

	明治十七年十一月十一日	借方 長門屋
	三	商品ニ
	四	差引残高ニ
	明治十七年十月卅一日	貸方 長門屋
	四	差引残高ニテ
	四	
	五	
	五	

十五

(三)

		明治十七年十一月廿一日	借方	備前屋	貸方	明治十七年十一月廿一日		
		商品二				商品二		
		差引残高二				差引残高二		
				三日				
						二三五		
						二三五		
						明治十七年十一月廿一日		
						差引残高二		
								二三五
								二三五

(四)

		明治十七年十一月十五日	借方	肥後屋	貸方	明治十七年十一月十日		
		商品二				同人仕出形二		
				四日				
								四日
								一七五
								一七五

(五)

		明治十七年十一月十五日	借方	加賀屋	貸方	明治十七年十一月十日		
		白米五拾石二				差引残高二		
		差引残高二						
				四日				
								三五
								三五

(六)

		明治十七年十一月廿一日	借方	土佐屋	貸方	明治十七年十一月廿一日		
		商品二				差引残高二		
		差引残高二						
				四日				
								一
								一
								明治十七年十一月廿一日
						差引残高二		
								一
								一

(七)

筑前屋

借方

貸方

			明治十七年 十一月 廿日	正金ニ				
			十一月 廿日	差引残高ニ				
					五日			
						一		
							四	
							五	
			明治十七年 十一月 廿日	給料ニテ				
			十一月 廿日	差引残高ニテ				
					五日			
							五	
							四	

○第七章 損益表

單式簿記法ニ於テ營業ノ損益ヲ証明スルニハ仕拂ノ可キ負債ト受取ル可キ有物トヲ元帳ヨ

リ書拔キ之ニ手許有金、賣残商品、所有ノ請取手形金高及ヒ仕拂ノ可キ仕拂手形金高ヲ加フ可シ然ルキハ有物ト負債トノ表ヲ得可シ而ソ有物ノ金高ヨリ負債ノ金高ヲ差引スルトキハ純然タル現在ノ資本金ヲ得可シ

手許有金ノ高ヲ知ルニハ金銀出入帳ノ差引残高ヲ視ル可シ賣残商品ノ金高ヲ知ルニハ現在所有ノ商品棚卸表ヲ製ス可シ又請取手形及ヒ仕拂手形ノ金高ハ現在所有ノ手形ト仕拂ノ可キ手形トノ表ヲ造リ以テ之ヲ知ル可シ

賣殘商品ノ金高ヲ知ル爲メ棚卸表ヲ製スルニ
 ハ現在所有ノ商品ノ金高ヲ仕入直段ヲ以テ見
 積リ若シ或ハ物價下落ノ際ハ帳簿結了ノ當時
 ノ相場ヲ以テ之ヲ見積ル可シ且棚卸表ハ唯賣
 殘商品ノミニ限ルモノニ非ス家屋田畑等ノ所
 有品モ亦棚卸ヲナサ、ル可ラサルナリ
 左ノ表ニテハ東京屋ハ十月一日金五千圓ノ資
 本ヲ以テ開業シ十二月卅一日ニ至リ資本金ハ
 増加シテ金五千四百拾五圓トナレリ乃チ十
 一十二ノ三ヶ月間ニ金四百拾五圓ノ利益ヲ得

タルモノナリ而シテ此利益ノ金高ハ明治十八年
 一月一日ヨリ元帳資本主ノ口坐ノ貸方ニ記入
 シ得可キモノナリ

損益表

損益表		有物	負債
長崎屋ヨリ受取ル可キ金高	七五、		
函館屋へ仕拂フ可キ金高			一六
馬關屋へ仕拂フ可キ金高			一、
長門屋ヨリ受取ル可キ金高	四五、		
備前屋ヨリ受取ル可キ金高	二二五、		
加賀屋ヨリ受取ル可キ金高	三五		

十八
 中道學

土佐屋ヨリ受取ル可キ金高	一、	
筑前屋へ仕拂フ可キ金高		四、
手許有金	二七、四九、	
賣殘商品	二五、八一、	
請取手形金高	一八、七五、	
仕拂手形金高		六五、
有物總計	六四、六	
負債總計	八三、	
明治十七年十二月卅日所有資本金	五四、五	
明治十七年十月一日所有資本金	五、	
三ヶ月間營業ノ利益	四、五	

○第八章 改良單記元帳及ヒ有物負債平均表

單記ノ元帳ニテハ第六章ノ如ク人又ハ會社ト吾人トノ賣買取引ノミヲ謄録スルハ常ナリ然レ氏人又ハ會社ノ口坐ノ外ニ左ノ雜形ノ如ク金銀、商品、請取手形及ヒ仕拂手形ノ口坐ヲ設ケテ之ニ加フルハ在來ノ單記式ニ一改良ヲ加ヘタルモノニシテ斯ク四口坐ヲ單記ノ元帳ニ設クルト

キハ單記ヲ變シテ復記トナス時ニ當リ更ニ新帳簿ヲ製スルヲナクシテ此元帳ヲ用フルヲ得可キモノナリ

左記ノ四口坐ニ騰録スル金高ハ第七章ノ損益表ニ據リ得タルモノナリ

(六)

借方		貸方	
明治十七年十一月廿一日	手許有金ニ	明治十七年十一月廿一日	差引残高ニテ
廿一日	差引残高ニ	廿一日	差引残高ニテ
	二七四九ニ		二七四九ニ
	二七四九ミ		二七四九ミ

(五)

借方		貸方	
明治十七年十一月廿一日	賣残り商品ニ	明治十七年十一月廿一日	差引残高ニテ
廿一日	差引残高ニ	廿一日	差引残高ニテ
	二五四一ニ		二五四一ニ
	二五四一ミ		二五四一ミ

(四)

借方		貸方	
明治十七年十一月廿一日	所有手形ニ	明治十七年十一月廿一日	差引残高ニテ
廿一日	差引残高ニ	廿一日	差引残高ニテ
	一七五ニ		一七五ニ
	一七五ミ		一七五ミ

請取手形

(廿)

仕拂手形

借方

貸方

明治十七年十二月卅一日	差引残高	空	明治十七年十二月卅一日	仕拂可手形	六七五
			十二月卅一日	差引残高	六五

元帳ノ勘定ヲ結了シタル後ハ左ノ有物負債平均表ヲ元帳ニ據リ製ス可シ此表ハ則資本主ノ營業ノ有様ヲ簡約ニ表ハスモノナリ

有物負債平均表

明治十七年十二月卅一日

借方(有物)

貸方(負債)

十二月卅一日	長崎屋借リ	五元	十二月卅一日	函館屋借シ	八元
		七五			一六

同	長門屋借リ	五元	同	馬關屋借シ	九元
同	備前屋借リ	五元	同	筑前屋借シ	五元
同	加賀屋借リ	五元	同	仕拂手形	廿元
同	土佐屋借リ	五元	八三一		六七五
同	手許有金	六元	同	資本金	一元
同	賣残商品	九元			五四一五
同	所有請取手形	十元			
		六二四六			六四六
		八三一			
	純資本金五四一五				

明治十七年十二月卅一日

14
2
112

K120.63

3

民間簿記學卷之上

終

民間簿記學
卷之上
中華書局

民間簿記學

森下岩楠
森島脩太郎 著

下

館藏書會查本口大		
二册	一五號	三六函

4
2
乙
276
3
279

K120.6